

自然に学び自然を守る



水稲用殺虫・殺菌剤

農林水産省登録
第24608号



いもち病



トビイロウンカ ヒメトビウンカ

ウンカ類



アカスジカスミカメ ミナミアオカメムシ

カメムシ類

ブレード[®]スタークル[®]R

ゾル

治療効果の
フェリムゾンと
予防効果の
フサライド
2つの有効成分で
いもち病を一刀両断!!

ブレード[®]はクミアイ化学工業(株)の登録商標
スタークルは三井化学アグロ(株)の登録商標

水稲用殺虫・殺菌剤

殺虫剤分類 **4A** 殺菌剤分類 **U14, 16.1**

有効成分：ジノテフラン…………… 9.0%
 フェリムゾン…………… 13.5%
 フサライド…………… 13.5%
 人畜毒性：普通物
 (毒劇物に該当しないものを指していう通称)

ブレードスタークル[®]R ゾル

特長

- 殺菌成分：2成分**：いもち病に対して治療効果に優れるフェリムゾンと予防効果に定評があるフサライド含有です。予防・治療の両方の効果が期待できます。
- 殺虫成分：1成分**：ジノテフランはウンカ類に防除効果を有し、特にカメムシ類には殺虫効果と吸汁阻害効果で効率的な斑点米抑制効果が期待できます。
- 無人航空機による散布が可能です。**

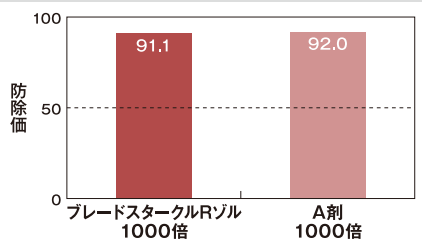
適用病害虫および使用方法

2022年2月9日現在

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数	フェリムゾンを含む農薬の総使用回数	フサライドを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 ウンカ類 カメムシ類	1000倍	60~150ℓ /10a	収穫7日前 まで	2回以内	散布 無人航空機 による散布	4回以内 (育苗箱への処理及び側 条施用は合計1回以内、 本田での散布、空中散 布、無人航空機散布は 合計3回以内)	2回以内	3回以内
		300倍	25ℓ/10a						
		8倍	800ml/ 10a						

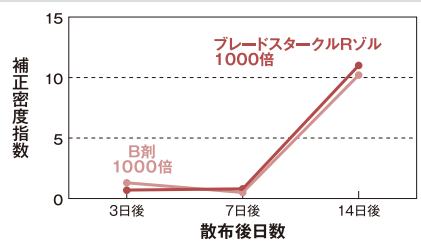
委託試験成績

■ 穂いもちに対する効果



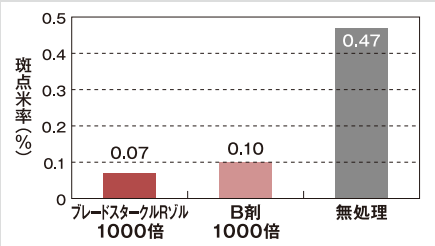
2020年 クミアイ化学工業株式会社(長崎県西海市現地圃場)
 品種：なつほのか
 耕種概要：5/11は種、6/10移植、8/24出穂期
 区制・面積：16.2㎡(5.4m×3.0m)、3連制
 発生状況：少発生(接種)
 散布：8/18(種ばらみ期)、8/28(穂揃期)、に背負式バッテリー動力噴霧器を用いて150ℓ/10aの割合で散布
 調査方法：各区30株の全穂について、発病率および被害度を算出し、被害度の平均から防除値を算出した。

■ ウンカ類(セジロウンカ)に対する効果



2020年 クミアイ化学工業株式会社(佐賀県野母町現地圃場)
 品種：さがびより
 耕種概要：5/25は種、6/19移植
 区制・面積：30.0㎡(15.0m×2.0m)、3連制
 発生状況：多発生
 散布：7/29に背負式バッテリー動力噴霧器を用いて150ℓ/10aの割合で散布
 調査方法：各区中央付近の30株について、粘着版への払い落とし法で生息する虫数を調査

■ カメムシ類(斑点米)に対する効果



2020年 クミアイ化学工業株式会社(千葉県香取市現地圃場)
 品種：ふさおとめ
 耕種概要：3/25は種、5/1移植、7/23出穂期
 区制・面積：40.0㎡(4.0m×10.0m)、3連制
 発生状況：アカスジカスミカメおよびクモヘリカメムシ中発生
 散布：7/27に背負式バッテリー動力噴霧器を用いて150ℓ/10aの割合で散布
 調査方法：各区から200穂収穫し、粗玄米について斑点米数を調査

注意事項

- 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきってください。
- 長時間貯蔵しておくとはずれるので、使用の際は容器をよく振って均一な状態に戻してから所定量を取り出してください。なお、希釈する場合は、所定量の水に加えてから十分かき混ぜてください。
- 散布液調製後はそのまま放置せずできるだけ速やかに散布してください。
- 本田の水稲に対して希釈倍数 300 倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用してください。
- 無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守ってください。
 - 散布は散布機種種の散布基準に従って実施してください。
 - 微量散布装置以外の散布器具は使用しないでください。
 - 散布薬液が漏れないように機体の散布配管とその他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分注意してください。
 - 水源地、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意してください。
 - 機体の散布装置は十分洗浄し、薬剤タンクの洗浄廃液は、河川等に流さないでください。
- たばこ、けいとう、だいず、あずき、いんげんまめの幼植物には薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布してください。
- 垂に対して影響があるので、周辺の薬液にはかからないようにしてください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 誤飲などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の担当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の担当を受けさせてください。
- 原液は眼に対して刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の担当を受けさせてください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手洗、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣類を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺に近づかないようにしてください。無人航空機による散布でそれらに飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
 - 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 保管…密栓し、直射日光を避け、食品と区別して、涼涼な場所に保管してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ● 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、水産動植物に影響を与えないように適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。 ● 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。



自然に学び 自然を守る
クミアイ化学工業株式会社
 本社：東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL03-3822-5036
 ホームページ <https://www.kumiai-chem.co.jp>

